

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**ホテルモンテエルマーナ福岡 渡辺通**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.2</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.9</b>	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能	T-2サッシ	3.0	1.00	5.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能	TLD-56	3.0	-	4.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
2.1.1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2.1.2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
2.1.3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30			
3.1.1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60			
3.1.2 方位別開口			-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策	カーテン×2 + 一部設備バルコニー	3.0	0.30	4.0	0.30			
3.2.1 昼光制御	カーテン×2 + 一部設備バルコニー	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.9</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.7</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	全面 F☆☆☆☆建材	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.1.2 芳香剤対策			-		-			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		5.0	-		-			
4.3.2 喫煙の制御	全館禁煙 + 各階喫煙室	5.0	1.00		-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.9</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	1.0	0.50			
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	0.50			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40			
1.2.1 広さ感・景観	客室 高天 2.6M	3.0	-	4.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-		-			
1.2.3 内装計画	インテリアパースによる確認 先行ルーム作成	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30		-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	表面強化ビニル壁紙	4.0	0.50		-			
1.3.2 維持管理用機能の確保	共用部からの点検	4.0	0.50		-			
1.3.3 衛生管理業務			-		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.6</b>	0.30					<b>3.6</b>
2.1 耐震・免震		4.0	0.50		-			
2.1.1 耐震性	基準法の1.25倍	4.0	0.80		-			
2.1.2 免震・制振性能	付加制震(ハニカムダンパ)	4.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30		-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	劣化懸念ダクトへの材料配慮	5.0	0.10		-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	耐久性の高い材料を使用	5.0	0.20		-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.8</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具、中水(再生水)利用、受水槽水栓設置	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>2.7</b>	1.00	<b>2.7</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			-	-	<b>2.4</b>	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			3.0	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.8</b>	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺のまちなみと調和、外周植栽	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.83	<b>4.8</b>	0.20	-	-	<b>4.8</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			3.0	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			<b>4.5</b>	0.50	-	-	<b>4.5</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.80	4.5	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
1.1 節水		節水コマ、節水型器具	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.3</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	中水利用	4.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>4.1</b>	0.60	-	-	<b>4.1</b>
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材	5.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニルシート、タイルカーペット、タイルカーペット用アンダーレーシートを採用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が分別可能	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20	-	-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含まない	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		省エネルギー計画書参照	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.2</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペースの十分な確保、入口の配慮	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	外部への光漏れへの配慮(樹木の配置、カーテンの設置)	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	